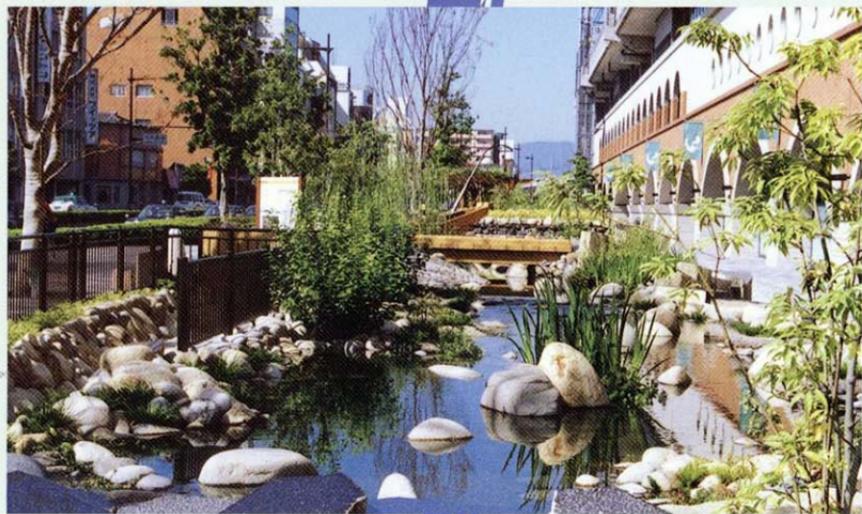


鮎の駅・清水川



岐阜県
岐阜市

鮎の駅・清水川の概要

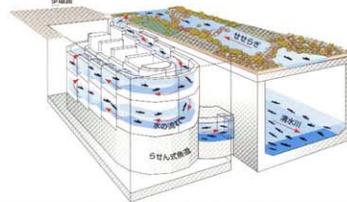
地域住民や岐阜駅利用者の憩いの場、身近な自然にふれあえる場を創出することにより、岐阜駅南口にオープンした「アクティブ・G」と共に、駅周辺の発展に寄与することを目的として、県と市が協力して「鮎の駅・清水川」を整備しました。

- 清水川は、岐阜市の繁華街・柳ヶ瀬地区から街の中を流れています。ここでは、アユ、ギンブナ、オイカワなどたくさんの魚がすんでいます。それは、この川の水がとでもきれいで量も多いからです。
- 河川を2層構造にして、上段にせせらぎを整備し、魚たちも「魚道」を通ってのぼれるようにしてあります。都市の玄関口（駅前）で県魚（アユ）や自然の魚を間近に見ることができるのは、全国でも例がありません。
- 鮎ゾーンでは、鶺鴒船をイメージした「舟型デッキ」から登り落ち漁の仕掛けやアユの姿が見られます。また、自然の魚ゾーンでは、清水川に生息する魚がのぼれる魚道を設置し、魚がのぼる様子を観察できる構造になっています。
- せせらぎ沿いに藤棚や中木・水生植物を配し、水に親しめる憩いの場になっています。

魚の生態を観察する施設

●自然の魚ゾーン — トラック式らせん魚道

この魚道は、プール式魚道をトラック形に3段積み重ねて、狭い設置場所でも魚がのぼっていきけるように工夫してあります。



●鮎ゾーン — スロープ式魚道

この魚道は、自然石を用いた魚道で、のぼってくる様子を見ることができます。また、長良川本支流で古来から盛んに行われている登り落ち漁法の仕掛けもみることができます。



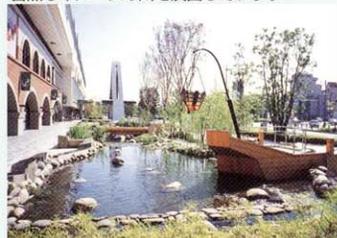
緑と清流あふれる景観をつくり出しています



水に親しめる憩いの場をつくり出しています



自然なイメージの川を演出しています

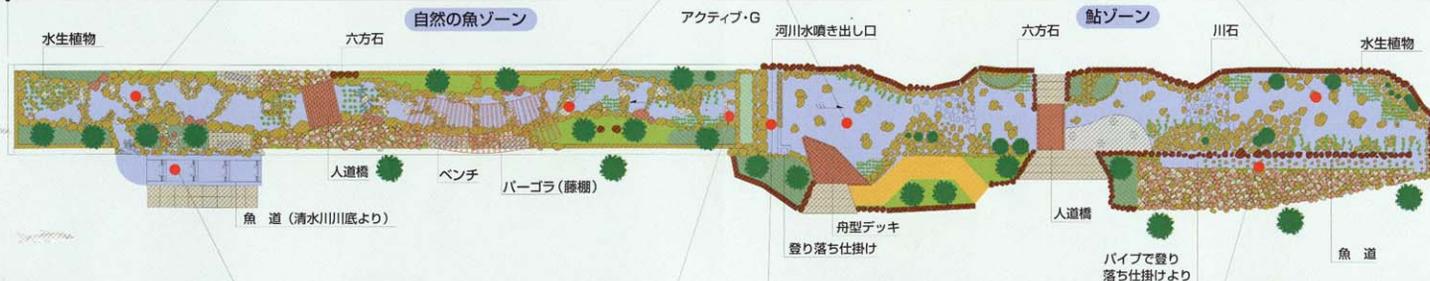


清流にふれあう空間をつくり出しています



L=102m

計画平面図



トラック式らせん魚道から魚がのぼってきます



自然のイメージの河川水噴き出し口

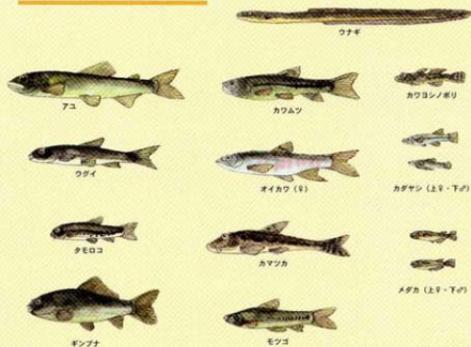


登り落ち漁法の仕掛けのある落ち口



スロープ式魚道から魚がのぼってきます

清水川にすむ魚たち



位置図



問い合わせ先

■岐阜市 基盤整備部河川課

〒500-8701

岐阜市今沢町18

TEL058-265-4141